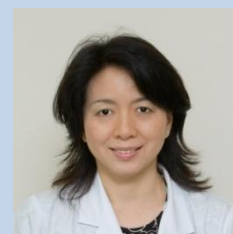




## 動脈硬化症って何？

動脈とは、心臓から全身の臓器に血液を運ぶパイプのような血管のことです。血液によって、生きていくのに必要な酸素や栄養分が運ばれるのですから、脳や心臓、腎臓、肝臓等の重要臓器だけでなく、抹消は毛細血管に繋がり皮膚等まで全身くまなく運ばれ生命活動は営まれています。いわば、生命体のライフラインとも言うべきものです。本来は、ポンプのように効率よく血液を運ぶ作業を行っているのですから、ともしなやかで、簡単に破れたり詰まったりしない強さと弾力を備えています。しかし、この動脈も、加齢と共に段々と硬化していきます。それを、加速する要素が、脂質異常症、高血圧、糖尿病、喫煙等になります。動脈硬化が進行するとどうなるのでしょうか？



オアシス第二病院  
日野 裕子

心臓に大きな負担がかかるため、高血圧、心肥大、心不全などの心疾患につながります。また、血管が狭くなったり、詰まったりすることで、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症等を引き起こします。血管が破れると、くも膜下出血など脳出血の危険も。たかが、動脈硬化と侮ってはいけません。死につながる恐ろしい症状を引き起こす危険を抱えているのです。具体的には、受診して、それぞれに応じた評価を受け、薬物療法が必要な方は、上記のような事を認識しながら治療継続して下さい。薬物治療の有無に拘らず、人は誰でも加齢と共に動脈硬化は進行してきますが、以下の事を心がけることは、少しでも動脈硬化を予防、進行を遅らせる事ができます。さあ、今からでもあなたに出来る事を一つでも実行し、若い血管年齢を保つよう楽しく努力しましょう。

### 具体的な生活習慣改善項目

- ☆禁煙し、受動喫煙を回避する
- ☆過食を抑え、標準体重を維持する
- ☆肉の脂身、乳脂肪、卵黄の摂取を抑え、魚類、大豆製品の摂取を増やす
- ☆野菜、果物、未精製穀類、海藻の摂取を増やす
- ☆食塩を多く含む食品の摂取を控える
- ☆アルコールの過剰摂取を控える
- ☆有酸素運動を毎日 30 分以上行う



## 部署紹介・その10 薬剤部



当院の薬剤部は現在第一病院、第二病院合わせて薬剤師 5 名、薬剤助手 3 名で院内の全ての医薬品に関わる業務に取り組んでいます。

例えば入院患者さんの調剤をはじめ吸入指導、入院患者さんのための注射薬調剤、外来及び病棟の薬品管理 薬剤に関する問い合わせの対応等の医薬品情報提供業務、薬剤管理指導等々です。

その他に院内の感染予防対策や事故防止の対策、大規模災害に対する対応の為に、医師や看護師など他のスタッフと連携を取るなどして医薬品に関する多くの業務と課題に取り組んでいます。

昨今、医療事故の報道が多く目につく様になっていますが当薬剤部では医師、看護師と情報交換を密にして注射薬、内用薬の適正使用に努めています。また注射剤の配合変化や注射剤の混ぜ合わせ、注射施行時の注意事項、内用薬の飲み合わせなども随時情報提供することで、事故防止に努めています。

薬剤部部长 工藤博喜



お問い合わせ  
特定医療法人善昭会  
オアシス第一病院

〒870-0103 大分市東鶴崎 2 丁目 3-19

電話 097-527-2211 Fax 097-522-0511

